

考古学からみる大阪 古代王権と大阪

古墳時代、大阪は西国や大陸との交易の玄関口として、また、大型の前方後円墳に代表されるような王陵の地として、そして時には王権中枢の舞台として、ヤマト王権と密接な関係にありました。今回の講座では、最新の発掘調査や考古学研究の成果をもとに、ヤマト王権の成立と展開について大阪からの視点で考えてみたいと思います。

7 | 17 木 初期ヤマト王権の成立と河内の遺跡群

大阪府文化財センター 調査課長補佐 市村 慎太郎

中河内地域は、「王都」との評価もある奈良盆地の纏向遺跡と、大和川を介して繋がる一連の地域でした。中河内所在の中田遺跡群や加美・久宝寺遺跡群などの大規模集落遺跡から初期ヤマト王権成立期に中河内の果たした役割を考えます。

8 | 21 木 古墳時代前期における地域社会の政治変動—大園遺跡の事例から—

弥生文化博物館 学芸員 石束 礼

3世紀後半以降、各地に前方後円墳が築造されますが、その成立過程は地域により多様です。本講座では大園遺跡を中心に和泉地域をケーススタディとして、集落と古墳築造の動態から地域社会の変容について考察します。

9 | 18 木 百舌鳥・古市古墳群の出現と王権の地域開発戦略

大阪府文化財センター 調査課 主査 笹栗 拓

古墳時代中期は、巨大古墳の築造や大規模な手工業生産遺跡の出現から、王権の権力基盤の伸長が想定されています。津堂遺跡をはじめとする大阪平野の豊富な集落遺跡の調査成果から、王権の開発戦略について考えてみます。

10 | 16 木 伝世品からみた古代王権の系譜

弥生文化博物館 学芸総括 三好 玄

弥生時代併行期の中国大陸で作られ、何世紀も後の古墳に副葬された銅鏡をはじめとする「伝世品」は、どこで、なぜ長期間伝えられたのか。古代王権の系譜とも関わるこの問題をめぐる近年の熱い議論をご紹介します。

11 | 20 木 古墳時代の王権と渡来人

大阪府文化財センター 調査課 主査 鹿野 塁

古墳時代、文化や技術系統のなかに、それまでの倭国にはみられなかった新しいモノが出現します。それらは、主に朝鮮半島からやって来た渡来人によりもたらされたと考えられます。発掘調査成果から見えてくる王権と渡来人の関わりについて考えます。

12 | 18 木 継体大王の登場と王権の変革

大阪府文化財センター 調査課 主査 廣瀬 時習

謎の大王といわれる継体大王の時代は、ヤマト王権の伸長と中央集権的な国家へ大きな歩みを進めた時代です。講座では、大阪を含めた各地の古墳やその出土品、集落などの変化から、新たな潮流の実像と大王の謎に迫りたいと思います。

1 | 15 木 群集墳の出現とヤマト王権

大阪府文化財センター 調査課 主査 森本 徹

王権の政治的活動を示す古墳は大型の前方後円墳だけではなく。今回の講座では古墳時代の後半期に多数営まれた小規模な古墳の集まり＝群集墳出現の様相から、ヤマト王権の政治戦略を読み解きたいと思います。

2 | 19 木 前方後円墳終焉後の王陵の形

近つ飛鳥博物館 学芸員 矢田 幸大

7世紀以降、王権の象徴であった大型の前方後円墳は終焉を迎え、王陵は新たな形へ姿を変えます。本講座では、磯長谷の王陵や飛鳥の終末期古墳を通して、前方後円墳終息後の王陵と王権の変化について考えます。

3 | 19 木 仏教受容からみた難波と王権

近つ飛鳥博物館 学芸員 谷崎 仁美

古代の難波は、わが国の仏教受容を考える上で避けられない地域です。本講座では近年の最新研究をふまえ、飛鳥・奈良時代の難波と王権とのかかわりについて古代寺院の創建年代や造宮氏族から明らかにします。

時 間 午前 10 時 30 分～ 12 時 (受付は午前 10 時から)

定 員 100 名様 (要事前申込)

受講料 各回 2,530 円 (税込)

お申込み・お問合せは「近鉄文化サロン阿倍野」まで

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and 4 階

TEL 06-6625-1771

【受付時間】

10:00～19:00 (日曜日は 10:00～16:00)

※受付時間は変更になる場合がございます。休業日はHP等でご確認ください。

受 講
お申込みは

- 事前にご予約のうえ、ご入金手続きをお済ませください。
- 満員になり次第、締め切らせていただきます。
- お支払いには、コンビニ振込みがご利用いただけます。(振込手数料別途) ※詳しくはお申込み時にご確認ください。
- WEBでお申込みの場合、会員登録が必要です。(入会金無料)

WEBでのお申込み、お支払いはこちらから

ホームページアドレス

<https://bunka-salon.d-kintetsu.co.jp/shop/c/cabeno/>

